

会 議 記 録					
会 議 の 名 称	公共交通対策特別委員会			会議場所	全員協議会室
				担当職員	加藤 太郎
日 時	令和3年5月24日(月曜日)			開 議	午後 1時 30 分
				閉 議	午後 2時 38 分
出席委員	◎三宅 ○奥野 田中 山本 赤坂 齊藤 石野 <福井議長>				
執行機関 出席者	【まちづくり推進部】関部長、伊豆田事業担当部長 [桂川・道路交通課]信部課長、鹿島副課長、服部主任				
事務局 出席者	山内事務局長、加藤副課長				
傍聴	可	市民0名	報道関係者0名	議員0名(一)	

## 会 議 の 概 要

1 3 : 3 0

### 1 開議

[三宅委員長 開議]  
[事務局副課長 日程説明]

[まちづくり推進部 入室]

1 3 : 3 2

### 2 案件

#### (1) 令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画について

[まちづくり推進部事業担当部長 あいさつ]  
[桂川・道路交通課長 説明]

1 4 : 0 8

[質 疑]

<赤坂委員>

亀岡市地域公共交通網形成計画の冊子は以前にももらっているが、アンケート調査が更新されていない。調査から3年も経過すれば状況が変わってきていると思われるがどうか。

<桂川・道路交通課長>

当初のアンケートで5年間の計画を立てており、計画期間の終了が近づく段階で再調査を行いたい。

<赤坂委員>

高齢化が進んでいる中で5年の間に状況も変わってきているので、アンケートをしっかり取らなければならない。前回からの改善が見られなくて、デマンド交通についてあまり進んでいない。旭町での試行については聞いているが、ほかにもっと大変な地域がある。これから人口減少していく中で、そのような地域でのデマンド的な取組は考えていないのか。

<桂川・道路交通課長>

京都タクシー株式会社と協議する中で、デマンドタクシーの導入について検討して

いる。乗務員を新たに募集するのではなく、JR亀岡駅前で待機している車を配車できれば経費を抑えることが可能だと聞いている。前回のアンケート調査では、デマンドタクシーは必要ないとの意見が多かったが、ご指摘のとおり再度アンケートを取っていく必要もあると思う。以前にデマンドタクシーの見積りを取ったが、比較的高いこともあり実施には至っていない。今後は料金等を再度調査して考えていきたい。

<赤坂委員>

デマンドタクシーの見積りを取ったようだが、そこから話が進展していないと聞いている。この委員会では以前にも京都タクシー株式会社と意見交換したが、そこから時間が経過しているのもう一度来ていただいて意見交換したい。高齢者の方も増えてくるので必ず移動が大変になってくる。いろいろな形のデマンドがあり、せっかく亀岡にはタクシー事業者があるので、早く試行的に活用して検討していきたい。

<まちづくり推進部事業担当部長>

地元で支えていただく地域主体型交通として、旭町で試験的に実施していくことを報告させていただいた。馬路町や千歳町でもこの取組を参考にしていきたいとあり、川東方面が動いていくと考えている。また、宮前町では集落が点在しているところがあり、まずはそういった点在している集落から動き出して、最終的に一つのまとまったものにしていきたいと聞いている。西部方面については各地域で持っている悩みが各々違うため、それぞれの悩みを聞きながら解決する方向で進めていきたい。そういった中で、タクシーを活用したものが出てくると思うが、あくまでも地域の方々が望み、地域にふさわしい交通を提供していく目的で検討を進めていきたいと考える。

<赤坂委員>

地元の方が率先してやることもよいことだと思うが、亀岡市も前に出ていく必要がある。人や技術を持っているプロの力を活用しながら、できるだけ市主導型でシステムを作っていただくよう要望しておきたい。

<齊藤委員>

今回実施いただいたバスのフリー回数券やタクシー運賃の補助については、利用された方が大変喜んでおられた。また、デマンド交通については、地元の方が認識や利用する意欲を持たないと継続していかないとと思う。バス交通にも同じことが言えるが、押し付けでやっても経費だけがかかってなかなか利用されないのも、できるだけ地域の中で意識を高めて動いていくことが大事である。今、宮前町神前で検討されているデマンド交通については、利用者を会員制にするなどの工夫で対応すると聞いたが、法的にはどうなのか。

<まちづくり推進部事業担当部長>

以前は、いわゆる白タクなど営業目的のものを抑えるために、法的には大変厳しいものであったが、多くの地域で高齢化や移動難民の問題が出てきている中、徐々にルール自体が緩和されていっており、今はタクシー事業者が地元に入っているいろいろな指導をするなど変わってきている。旭町でのデマンド交通の試験運行については、まずは無償での実施となるが、アンケート調査などによってニーズや要望を把握する中で、来年ぐらいからは自家用有償運送として続けていくことができないかを運輸局と調整しているところである。今やろうとしていることに法的な制限がかかることはない。

<齊藤委員>

タクシー事業者を活用することが議論されており、法的な課題はあると思うが、デ  
イサービスなど介護関係との連携も検討できるのではないかと。

<まちづくり推進部事業担当部長>

福祉施策との連携になると思う。いただいたご意見を念頭におきながらできること  
を考えていきたい。

<齊藤委員>

法も変わってきている。地域にあった無駄のない行き届いたサービスにしてい  
ていただきたい。

<三宅委員長>

地域ごとにいろいろ検討されて取り組まれている。それらの内容についてまとめ  
ていただき、次回の委員会で報告願いたい。

<まちづくり推進部事業担当部長>

次回に報告させていただく。亀岡市地域公共交通網形成計画については、亀岡市地  
域公共交通会議で策定された5カ年の計画であり、計画期間の5年間にこれをやっ  
ていこうと定めたものである。今回は5カ年の折り返しにきていることもあり、改  
めて計画を説明させていただいた。

[まちづくり推進部 退室]

14:28

### 3 その他

<三宅委員長>

今後の活動について意見はあるか。事務局はどうか。

<事務局副課長>

行政視察については、コロナ禍であることからほかの委員会と同様に状況を見て判  
断してはどうかと思う。テーマについては、公共交通対策といった大きなテーマで  
活動するものであるが、さらに詳細な項目があれば決めていただければよいと思  
う。

<三宅委員長>

次回の委員会では、地域ごとの取組状況や課題について執行部から説明いただ  
くの、活動の参考にしていただきたい。

<赤坂委員>

齊藤委員から意見があったデイサービスとの連携はよいと思う。これはとても理に  
かなっていて、うまく連携できればつながって行く。コロナ禍ですぐには行政視察  
に行けないので、デマンド交通については、まずはもう一度京都タクシー株式会  
社に来てもらって、タクシー事業だけに絞らずに交通のプロとしての意見を聞いて  
みたい。

<三宅委員長>

委員会で京都タクシー株式会社の川本社長と意見交換して2年が経過した。会社と  
していろいろなことをされていて、デマンド交通についてもメリットやデメリット  
があると聞いている。赤坂委員から提案もあったが、今回改めて委員会にお招き  
して意見交換する場を設けたいと思うがどうか。

—全員了—

<齊藤委員>

バス交通については、利用率がよくない路線があるので、官民が一体となって乗り  
たいバスにしていく方策を考えていかなければならない。委員会で議論して提言  
できればよい。

<三宅委員長>

確かに乗りたいバスにすべきである。今の状況は重々承知しているので、バスのコース設定やダイヤ編成などかなり苦勞している面があると聞いているが、見直しの中で各委員が意見を出し合い、実施できる施策を提言していきたい。

<山本委員>

バスのサービスをよくするとバスに乗る人は増えると思うが、一方では、バスに乗りたくても乗れないところがネックとなってデマンド交通を検討している。今、亀岡市としては地域主体型交通として対策を進めているが、昨年度の最終に委員会から、タクシー事業者の持つノウハウや運転手のサポートを活用することを提言している。今後はそういった方策を取り入れて公共交通を構築することを考えていきたい。

<三宅委員長>

先ほどもあったが、デマンドタクシーの見積りを取ってから検討が進んでいない状況である。昨年度の提言を踏まえて検討を進めていきたい。

<山本委員>

それぞれの地域に合ったデマンド交通としてどういったことができるのか、タクシー事業者から提案を出していただくことがよいと思う。

<三宅委員長>

他の自治体の取組についても勉強していきたい。

<事務局副課長>

今後の予定として、地域ごとの取組や課題等の行政報告とタクシー事業者との意見交換会を進めていくことを決定いただいた。日程については議会月を外して7、8月あたりで調整させていただきたい。

<三宅委員長>

このとおりでよいか。

ー全員了ー

散会 14:38